

火消しの意気、力強く



平成26年山田町消防演習



山田町消防団（佐々木元団長・団員331人）による消防演習が6月8日、山田北小学校校庭を主会場に行われました。団員の士気高揚と住民への防火思想の普及を目的に毎年行われているもので、団員ら307人が参加しました。

開会行事では統監の佐藤信逸町長が「消防団の皆さんには、町民の生命・身体・財産を守っていただき感謝しています。また、先月発生した荒川地区林野火災では昼夜問わず献身的に活動されたことに對し、町民を代表して敬意と感謝を申し上げます。地域防災のリーダーとしての消防団に対する期待は高まっていますので、今後ますますご尽力いただきたい」とあいさつしました。

また、5月1日に消防団長に就任した佐々木団長は、「東日本大震災では、消防団員を含む多くの犠牲者が出ました。『住民の安全を守る消防団の任務』と『消防団の安全確保』という2つの

命題を達成すべく、『郷土愛護の精神』の下、関係組織と連携しながら、町民の信頼と期待に応えられるよう、一層の努力が必要です」と訓示しました。

その後、入団者の辞令交付式が行われ、10人を代表して第7分団の貫洞翔太さん（22）が声高らかに宣誓。団員の各種表彰が行われた後、消防団による小隊訓練、分水器使用小型ポンプ操法を行い、日頃の訓練の成果を披露しました。あいにくの天候により織笠婦人防火クラブによる救急訓練と山田幼稚園幼年消防クラブによるアトラクションは中止となりましたが、訪れた観覧者らは十分に訓練された団員に、惜しみない拍手を送っていました。

続いて、関口川で行われた放水訓練には大勢の観衆が詰め掛け、空高く上がる見事な水の柱に歓声を上げていました。最後にコメリ山田店前から山田北小学校までの分列行進では、一糸乱れぬ力強い行進で、火消しの心意気を見せました。

なお、本演習では平成26年度日本消防協会「表彰旗」の審査も行われ、7人の表彰審査委員を代表して、岩手県消防協会・大森忠雄会長から、山田町消防団を同表彰の候補として上申することが報告されました。



①日頃の訓練の成果が光った第1分団・第5分団による小型ポンプ操法訓練／②ラッパ隊の演奏に士気が高まります／③号令に合わせきびきびした動作を見せる小隊訓練／④迫力ある消防車のパレードに親子連れは大喜び／⑤全分団による一斉放水に、観衆からは歓声が上がりました

表彰された皆さん

町長表彰 ▶ **功労章** 佐々木毅彦（9分団長）、大釋芳則（4分団副分団長）、外館嗣弘（11分団副分団長）、菊地利光（4）、佐々木明浩（10）、佐々木信明（10）、芳賀惣衛（11）、二見和夫（12）▶ **功績章** 山崎康宏（1）、鈴木貴雅（2）、浦川新一朗（2）、川村真矢（3）、菊地正浩（4）、稲川伸（4）、湊紘一（4）、坂本泰幸（5）、三田地駿（6）、畠山耕治（6）、佐藤智典（7）、加藤周平（7）、尾形伸悟（12）、瀬川宏昭（13）、斉藤光義（13）▶ **勤続章** 山崎洋（1）、山崎真（1）、佐々木敏明（1）、佐々木盛一（2）、佐藤太（9）、芳賀健一（11）、佐々木光浩（11）▶ **町長感謝状** ▶ **退職団員** 佐々木毅彦（9分団長）、山崎勇（1分団副分団長）、長崎一彦（7分団副分団長）、後藤茂典（1）、佐々木貴光（3）、白澤未来子（5）、佐藤保博（5）、阿部泰正（6）、貫洞勇（7）、阿部達也（7）、篠山裕美（8）、武藤浩（9）、鈴

木敦（10）、佐々木道行（11）、二見和夫（12）、勝山栄松（12）、斎藤栄吉（13）▶ **内助功労者** 佐々木幸子（9分団長夫人）▶ **岩手県消防協会宮古地区支部長表彰** ▶ **精錬証** 山崎健裕（1）、佐々木克博（1）、平澤英樹（3）、佐々木和哉（4）、田老兼藏（6）、佐々木宣男（7）、野田博明（7）、阿部達也（7）、長瀬新吾（8）、武藤庄一郎（8）、平石勉（9）、芳賀善一（11）、畠山達哉（11）、木村利之（11）、勝山寿也（11）、佐々木幸博（13）▶ **勤続証** 清水馨（2）、佐藤賢一（2）、秋田浩美（3）、湊淳一（4）、鎌田雅和（7）、内館徹（9）、佐藤信夫（9）、芳賀暁洋（11）、豊間根尚（12）、山口義源（13）▶ **山田町消防団長表彰** ▶ **精績章** 花崎辰哉（1）、飯野健（3）、港哲一（3）、小林貴光（5）、堀合徹（6）、佐藤文哉（8）、小成勝也（8）、芳賀孝貴（10）、千代川弥樹（10）、佐々木正隆（12）▶ **無火災表彰** 7分団（7年間）、8分団（同）、9分団（5年間）、6分団（3年間）、第11分団（同）

《敬称略》